

日高山脈国立公園化・PR写真月間

2022年 6月 1日(水)～21日(火) 「北の自然の舞台裏」 環境省アクティブ・レンジャー 写真展

2022年 6月 1日(水)～15日(水) 「中札内村から」 十勝在住写真家 日高山脈 写真展

2022年 6月 1日(水)～15日(水) 「はじめての日高山脈」 地域おこし協力隊 町田仁志 写真展

最速で 2022 年末に国立公園指定が予定されている日高山脈。

中札内村日高山脈国立公園化PR実行委員会は 2022 年 6 月、中札内文化創造センターにおいて合同写真展を開催いたします。
私達に様々な恵みを与えてくれる山々に一層の親しみを感じて頂けたら幸いです。



【会場】中札内文化創造センター 中札内村東 4 条南 6-1-3 〈開館時間〉10:00 ～ 21:30

【主催】中札内村日高山脈国立公園化PR実行委員会 事務局(村役場産業課内) TEL / 0155-67-2495

【協賛】中札内村観光協会

「北の自然の舞台裏」環境省アクティブ・レンジャー写真展（主催/環境省）

自然保護官（レンジャー）の補佐役として、国立公園などの自然保護上重要な地域の

パトロール、調査、利用者指導、自然解説などの業務を担うアクティブ・レンジャーが、日頃の業務を通じて撮影した四季折々の写真を集めた写真展を開催します。



【アクティブ・レンジャー日記】

「中札内村から」十勝在住写真家 日高山脈 写真展

長年、日高山脈の撮影が続けている十勝の写真家たちによる5人展。
今回は特に中札内村から見える山々の風景をセレクトしました。

【島本 裕子】 20数年間、十勝の美しい風景や花などをフィルムカメラにこだわり、撮り続けています。

【高田 徳廣】 日高山脈・ポロシリを背景に40数年間「北の自然と大地」を撮り続ける。
平成10年に「フォトスタジオとかち」写真事務所開設。全日本写真連盟十勝支部代表。

【辰巳 勲】 20代前半より登山と撮影を始める。地元である日高山脈 大雪山、阿寒、知床の山々を中心に歩く。
印刷会社のカメラマンとして、広告など多方面での写真制作活動を行っている。

【西岡 尚央】 公務員として勤務する傍ら、中札内村をはじめ十勝地方の美しい農村景観、野生動物など、
十勝の四季を撮影している。

【古川 こずえ】 学生時代から独学で写真を学び、十勝の四季折々の風景や花など、その時にしか出合えない一瞬一瞬を
求めて撮影している。

「はじめての日高山脈」地域おこし協力隊 町田仁志 写真展

昨年度より日高山脈の撮影を始めた写真家のはじめての日高山脈。
1524 x 2560 mm の巨大プリント10枚をギャラリー展示します。

季節や時間によって表情がかわる、好きな場所、気になる形。
自分の「推し」を見つけよう。名前があるなら知りたくなる。
毎日挨拶してみたりする。その日の気分で見え方が変わる。
日高山脈は村人の「安心」の象徴だと思う。
見えないとなくなくと寂しい。そう感じるようになったら、
あなたはもう日高山脈の一員です。

同時開催

道の駅なかさつない
カントリープラザにおいても
写真を展示します

町田仁志 1960年 東京生まれ。

1984年 ニューヨークでフリーランス・フォトグラファーとして活動を開始する。

2000年 インドのヒマラヤ山脈からアフリカ・セイシエル諸島の海までをつなげる撮影プロジェクトを始動。
2010年 東京・駐日マダガスカル大使館にて巨大プリント写真展開催。

2012年 Apple iBook Store より電子写真集「PLANET MAGAZINE」を出版。

2021年 北海道に移住。中札内村地域おこし協力隊（観光振興推進員）として日高山脈の撮影を始める。



【HP】